

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター和合担当圏域レベル）

開催報告書

<p>1 開催日時</p>	<p>令和7年6月30日（月） 9時30分 ～ 11時00分</p>
<p>2 開催場所</p>	<p>和合せいれいの里 研修センター</p>
<p>3 参加者</p>	<p>委員11名 関係機関27名</p>
<p>4 協議の内容</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 生活支援体制づくり協議体会長</p> <p>3. 自己紹介 氏名、住んでいる地区、最近食べたおいしかったものについて近くの4人で自己紹介。</p> <p>4. 意見交換・協議事項について ・生活支援体制づくり協議体について (事務局)パワーポイントを用いて生活支援体制づくり協議体、地区の高齢者の現状、昨年度の内容について説明。 (包括)6/26居宅介護事業所職員との圏域勉強会の報告。 地域の課題について話し合った。主に富塚地区の課題として①隣同士のつながりが意外と希薄②SOSを自分から出さない③買い物や通院などの移動手段が少ないという課題が出た。 困っている人に気づいてもらい助け合いの気持ちを作るためにどうしていくかをテーマに民生委員と勉強会を行う予定。</p> <p>・グループワーク それぞれの地区の課題についてグループに分かれて検討。 【富塚】関わりが少ない方の見守り、ゴミ出し、お出かけ先までの交通手段について &lt;移動、集まりについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンの時間に合わせて移動販売車が来るところもある。 ⇒20～30分滞在するが、サロンに参加する人は毎回同じ人、なかなか移動販売の周知が出来ていないのではないか。</li> <li>・開催してもいつも来ない人に対して、どうやってサロンに参加してもらうかが課題では。</li> <li>・サロンとシニアクラブなどのグループ活動と一体化していくことも良いのでは。</li> <li>・サロンには地区社協役員や民生委員も参加しているため見守りにもなっている。</li> <li>・これから足が悪くなって来られなくなる人が増えていく</li> <li>・新しい参加者は入ってこない</li> <li>・男性の参加者が少ない</li> <li>・いろんな企画や内容を考えるが、一般の地域住民へのアプローチが難しい。</li> </ul>

- ・高齢者は増えていくのにグループ活動のメンバーは減っていく。
- ・サロンは迎えに来てくれれば行けるといふ方もおり、雨の日は参加者が少ない。

#### <ゴミ出し、見守り>

- ・高齢になると3階でも階段が怖くなる、特に雨の日の依頼が多い。
- ・息子にゴミ出しを頼まない人もいる。
- ・団地ではチームで対応してくれていることもある。
- ・朝の時間はヘルパーでは間に合わないため難しい。
- ・いつでも持ってきてもいい場所があればいい。
- ・自治会としては、だれがゴミ出しに困っているか分からない。事前に分かれば手伝うことも可能かもしれない。
- ・自分が困っていることを名乗り出することは少ない。地区社協が行っている活動も自治会と関わりながら、当番表を作るときに分かれば協力できるかもしれない。
- ・ゴミ出しについては、自治会に相談というよりも民生委員に相談が多くなることが多い、雰囲気話しやすいのかもしれない。
- ・遠方の家族が認知症の母の安否確認で民生委員にLINEが入ることもあり、見守り方法も多様化している。
- ・サロンのお楽しみ企画では今まで参加してこなかった方たちが参加することもある。
- ・レクリエーションなどの提供してくれる団体がある。
- ・要支援になった方にサロンを紹介することはあまりないのではないかな。

#### 【住吉・和合】人が交流する場所、おしゃべりする場所について Google My Mapを見ながら話し合いを実施。

- ・地区社協サロンの他にもシニアクラブである交友会、寿和会などがある。
- ・交友会は、新しい方が多い。70代の方に参加してもらえるようにしているがすぐにやめてしまう人もいる。関心のあることなら集まりやすい。
- ・住吉会館ではロコトレを実施している。
- ・Iホールでは様々な地区の高齢者が集まる。
- ・和合北(特に4丁目)では高齢者が多く特に認知症の相談が多い。
- ・他地区のサロン会場の方が近いこともあるが、他地区のサロンに参加できないため、歩いていけない。
- ・青少年の家ではランドゴルフがあり、子育て広場では和合こども園やかるがもクラブ、子育て応援広場がある。
- ・活用できそうな場所があるが、代表者がいない  
⇒事務負担や責任が重くやりたい人がいない
- ・住民の中には地域の活動をそもそも知らない人や、地域活動に参加したくない方もいる。
- ・交流できる場所、おしゃべりできる場所のマップがあれば参加しやすいのではないかな。  
⇒Google My Mapと紙ベースでも見られる形にして民生委員なども配布できるツールがあればいい。
- ・高台協働センターでは活動の紹介に力を入れており写真や活動内容をまとめた冊子を作って配架したところ、お問い合わせが増え見てくれる人が多くいる。
- ・回覧板は見てくれない方も多いため、マップは病院やスーパーに置かせてもらう方がよいのではないかな。

	<p>5. その他          次回の生活支援体制づくり協議体について          10/27(月)9:30～ 和合せいれいの里 予定</p> <p>6. 閉会</p>
<p>5 今後の見通し・          必要な対応</p>	<p>【富塚地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ出しの課題についてどの自治会からの依頼が多いか、地区社協家事支援とケアマネから聞き取りを行い、地区ごとの課題を見えるようにしていく。</li> </ul> <p>【住吉・和合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おでかけマップ(仮)の作成に向けてGoogle My Mapにロコトレの情報やシニアクラブなどの情報をさらに追加していく。</li> <li>・他地区で作成したマップを次回提示しながら住吉・和合地区ならではのマップ作成に向けて話し合いを進めていく。</li> </ul>